

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	乗客数の動き	・前月同様、乗客数が増え、各時間帯の売上が回復傾向である。
	○	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前年と比べ衣料品の動向やクリスマスケーキ、おせちの予約が伸びている。国内観光客数も増えており、土産品の動きも良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の動きが活発で購買意欲が高くなってきている。来客数も増えてきている。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が明けて来客数は増えているが、景気が良いというわけではない。少し売上が伸びたという程度である。
	○	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・レンタカー会社からの来年のゴールデンウィーク需要に向けた受注が増えてきている。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・11月の半ばから商品の売行きが伸びている。
	○	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言、時短要請解除後から、徐々に来客数が戻り始め、新型コロナウイルス発生前である前々年の7割くらいに戻ってきている。しかし、前半の時間帯に集中していて、9時以降の遅い時間帯の来客数は以前の2割くらいである。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・3か月前には発出されていた緊急事態宣言が解除されている現在は宿泊の予約も増え、会議や飲食の利用も増えている。ただ、2019年のピークと比べると4割程度となっている。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの9月の販売室数が前年比56%減少なのに対し、12月の販売室数は前年比34%減少となり、マイナス幅が小さくなっている。
	○	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・緊急事態宣言が明けたことで国内の移動がある程度できるようになり、出張や旅行などが急に増えてきている。
	□	スーパー（販売企画）	お客様の様子	・客単価は少し良い状況だが、コロナ禍での来客数減少があり、売上はやや悪い状況である。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・建築受注件数及び金額が減少傾向にある。特に投資案件に関してその傾向がみられる。
	□	住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・不動産の情報量にもよるが、メール問合せや来店は共に増えているものの売上については平均的である。
	▲	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、郊外型の大型店に客が集中し、週末を中心に来客数が減少している。それに比例して買上点数、買上単価も伸び悩んでいる。
	▲	観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況により、予約のキャンセルが出始めている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数の動きとしては、現在まだ新型コロナウイルスの感染の影響がある。終息しそうになっても、また新型コロナウイルス新変異株が出てくる。新型コロナウイルス以外にも、良い要素はあるのだろうかかと懸念している。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客1組当たり5000万円、あるいは1億円以上の案件の具体的な相談が出てきている。
	□	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・師走に入り、観光関連、業務筋関連の売上は増加傾向になっているが、量販店向けの売上で苦戦している。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に前月と比較して見積依頼に大きな変化はない。
	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・コロナ禍は落ち着いているが、飲食店ではまだ客の戻りが十分ではないように見受けられる。
	▲	－	－	－
雇用 関連	◎	－	－	－
	○	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人案件数が増加傾向にある。ただし人手不足感は否めない。

(沖縄)	○	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・例年12月は求人数が減少する傾向にあったが、今回は減少せず3か月前の9月よりも求人数が多い結果となっている。その要因としては、9月は緊急事態宣言中であり採用活動が制限され求人数も抑圧されていたが、10月に宣言が解除された後の12月は採用活動再開の延長線上かと考えられるためとみている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・緊急事態宣言解除後、一気に求人数が増加するかとみていたが、12月中は微増にとどまっている印象がある。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・観光客数の増加があり、観光業の一部ホテルなどで採用再開の動きがある。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・年末に入り全体的に求人数は停滞しているが、Web制作業界においては12月に複数の求人があり、ますます需要が伸びているようにみられる。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・依頼はあるものの既存客からの追加依頼、部署交替等が多く、従来ある年末需要での依頼は少ない。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—